

(別紙様式)

(A 3 判横)

令和 5 年度 学校 自己 評価 システム シート (滑川町立福田小学校)

目指す学校像	志を立て失敗を恐れず挑戦する気概を育む学校～師弟敬愛の楽園～
--------	--------------------------------

重 点 目 標	1 学力の向上、体力の向上 2 豊かな心の育成、基本的な生活習慣の確立 3 開かれた学校づくり（応援したくなる学校づくり） 4 教育の質の向上を図る働き方改革
---------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	事務局(教職員)	3名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○タブレット端末を活用した授業改善、授業づくりを推進している。また、過去2年、「読解力」向上を目指した授業研究を推進した。 ●「主体的対話的で深い学び」を目指した授業改善とともに「特認校」を意識した教育課程立案が必要である。 ○運動好きの子供を育てることを目指した体育授業を推進している。 ●体力に課題がある。運動好きの子供の育成を目指した授業づくり、体育的活動の実施を通して実現する。	学力の向上 体力の向上	○教科書採択に伴い教育課程を再編成する。 ○「特認校」実施を見据えた教育課程を編成する。 ○総合的な学習の時間を中心に「探求的な学び」を実現する。 ○特性に触れた喜びを味わわせる体育授業を創造する。 ○体育的活動を推進する。	○学校評価に係る保護者対象アンケートで、「学力向上」に関し9割以上が好意的な評価したか。 ○体育授業改善に向けた取り組みを共有したか。	○学力に関する保護者アンケート好意的評価92.6%（昨年度94.3%） ○「特認校」実施に向けた教育課程を編成した。 ○学校課題研究を通して生活科・総合的な学習の時間において「探求的な学び」の授業改善を図り、成果を得た。 ○体育に関する保護者アンケート好意的評価88%（昨年90.2%） ○持久走等体育授業改善の取り組みを共有し、成果を得た。 ○新体力テスト結果に大幅な向上が見られた。	a	●「主体的対話的で深い学び」の深化・充実と基礎基本を活用するための思考力・判断力・表現力等の向上が必要である。 ・課題解決型の授業改善を進め、児童の探究活動への意識を高めていく。 ・各教科・領域において学習の基盤としての言語活動の更なる充実を図る。 ●新体力テストの結果は向上したが、課題も残っている。 ・運動の特性に触れた喜びを感じることのできる授業づくりを推進する。
2	○「規律ある態度」のレベルは高い。 ●「自己有用感」「傾聴」の指導・支援は、学力の向上にとっても重要である。教職員のベクトルを揃えて取り組む。 ●身の回りの整理整頓等に課題がある。「5S」を推進する。 ●関係諸機関との密接な連携を図る。	豊かな心の育成 基本的な生活習慣の確立	○人事評価制度を活用するほか、「自己有用感」「傾聴」の指導例を共有する。 ○「自立、貢献」をキーワードにした積極的な生徒指導を推進する。 ○実践意欲、実践的態度を育む道德教育を推進する。 ○人権教育を推進する。 ○教育委員会、健康福祉課、保健センター、嵐山学園、民生委員等関係諸機関との連携を強化する。	○児童、保護者対象のアンケートで、基本的な生活習慣の確立に関し9割以上が好意的に評価したか。 ○学校自己評価で、児童像の育成に関して全職員が成果を認めたか。 ○関係諸機関との連携により、課題を解決したか。	○基本的な生活習慣に関するアンケート好意的評価、児童95.8%、保護者86.5%（昨年 児童94.4%、保護者91.7%） ○「自己有用感」「傾聴」の指導が定着している。 ○職員対象のアンケートで、児童像4項目、豊かな心の育成5項目で平均3.3ポイント（満点4、昨年3.4p）の回答を得た。 ○関係諸機関との連携で成果を得た。	a	●場所や状況に左右されない実践力が望まれる。 ・「自己有用感」「傾聴」の指導・支援を継続し児童理解を根幹に据えた教育活動に取り組む ・家庭、地域等との連携を深めていく。
3	○「開かれた学校」について好意的な評価を得ている。 ●家庭、地域とミッションを共有し、「応援したくなる学校」を実現する。	開かれた学校づくり （応援したくなる学校づくり）	○学校運営協議会を実施するとともに関係諸機関、諸団体と連携し地域学校協働活動の充実を図る。 （学校評議員会、学校応援団、PTA、歴代PTA会長、谷津の里、エコミュージアム、森林公園・・・） ○苦情を意見に読み替えて組織として対応していくことを確認する。 ○「足を運ぶ」「すばやい対応が最大の誠意」を徹底する。 ○保護者や地域住民の声を丁寧に聞き、学校経営に反映させる。	○保護者等対象のアンケートで、「開かれた学校」に関し、9割以上が好意的に評価したか。 ○地域学校協働活動を推進したか。	○開かれた学校に関する保護者アンケート好意的評価93.7%（昨年95.1%） ○関係諸機関と連携して、流しゼリー、稲作体験、水生生物調査、環境整備、高齢者サロン、放課後子供教室等を実施し成果を得た。 ○危険箇所の速やかな整備等に努め成果を得た。 ○要望、苦情等に迅速に対応した。	b	●持続可能な事業展開システムを構築する必要がある。 ・コミュニティースクールの運営を進展させ、地域と学校が教育活動に協働して取り組んでいく。
4	○「働き方改革」に一定の成果を得た。 ●超過勤務時間の上限ガイドラインを目標とした具体的な超勤時間縮減が課題である。前残業、優先順位などの意識改革に基づく成功例を示し、指導する。また、学校行事後直ちに次年度の計画を示す等、具体的な働き方改革例を示す。また、意識改革を目指したカエル会議を充実する。	教育の質の向上を図る働き方改革	○「私達はこんな教師を目指します」を常に意識する。 ○OJTを推進し、資質能力の向上を実現する。 ○授業改善、子供と向き合う時間の確保を優先した業務改善を推進する。 ○トラブルを学びにかえる支援を行う。 ○方針を明確に示し、教職員に具体的な施策提言を求める。 ○時間外勤務時間45時間の勤務ベースを体験し、改革案のボトムアップを求める。 ○倫理確立委員会の活性化により、服務規律の徹底とマナーの向上を実現する。	○超過勤務時間を文部科学省上限ガイドライン（45h/m, 360h/y）以内に収めたか。 ○教育の質を維持向上できたか。	○教職員対象アンケート「目指す教職員像」5項目で3.44ポイント（昨年3.36）の結果を得た。 ○OJTに成果を得た。 ○教育の質を維持向上させながら、平均在校時間は着実に縮減できた。	a	●教育の質の更なる向上が求められる。 ・「私たちはこんな教師を目指します」を常に意識して業務に当たる。 ・業務内容の優先順位を決めて計画的に取り組む、授業づくりや子供と向き合う時間の確保を実現する。

学 校 関 係 者 評 価
実 施 日 令和6年2月9日
学校関係者からの意見・要望・評価等 ○授業を参観すると先生方が一人一人丁寧に指導している。しかし恵まれた環境の反面で、子供たちの競争心については心配もある。 ○グラブの寄贈をきっかけにし、投力の向上ができるとうい。リズム感も大切である。 ○持久走記録会を継続して実施するなど、自分に打ち克つ視点をもった、「克己心」を育む指導が素晴らしい。 ○児童の学習作品を見ると、先生方の頑張りが児童のもっている力の高さがわかる。 ○達成度は「a」でもよいのではないかな。
○規律ある態度はとてもよくできていて、児童はしっかりと挨拶できている。 ○達成度は「b」では低いと思うので、「a」ではどうか。
○特認校に向け、総合的な学習の時間や生活科の授業で、少人数指導や地域学習の充実を引き続きお願いしたい。 ○学校に集まる一部の意見が全体の意見のようになってしまうことがあるので、苦情対応等は組織的な対応をお願いしたい。 ○学校と保護者の関係は良好である。 ○特認校の実施に向け、地域への啓発を進め、さらに理解を深めてもらってはどうか。学校の情報発信をさらに進めてほしい。
○先生方自身の体調管理も大切にしてください。 ○校長先生の示す「目指す教師像」が先生方によく伝わっている。 ○「学力＝点数」ではないという教育観を、学校を通じ各家庭へにさらに伝えていただきたい。 ○教師が常に学び続ける姿勢を見せることで、子供たち自身にもよい影響を与えている。働き方改革の目的が実感できた。 ○子供たちは、親からは見えない家庭から離れた学校の中で、いつの間にか大きく育ててもらっている。各項目の達成度は高いと感じる。